

## 普及活動情勢報告（令和8年3月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

### マニュアル化でミスをゼロに ～安芸市カイゼン活動支援～



カイゼン指導を受ける  
農家

2月20日、安芸市内で農業改良普及課が（株）カイゼン・マイスターのアドバイザーを招いてカイゼンの現地確認を開催し、生産者（ナス、ピーマン）2人が参加しました。

農業改良普及課は、農家の経営内容を見直し、無駄を省いて効率化を目指すカイゼン活動に取り組む生産者を対象に、本年度は収穫作業の標準書作成による作業効率化などを支援してきました。

アドバイザーからは、標準書の構成や表現の明確化について助言がありました。

農家からは、「カイゼンに取り組み、従業員のやる気が向上した」との声がありました。

農業改良普及課は今後もカイゼン活動による農家の経営改善を支援します。

### 次年度の普及活動の推進にむけて ～農業改良普及推進協議会～



次年度の普及計画の  
説明

2月26日、田野町ふれあいセンターで農業改良普及推進協議会を開催し、農家代表者や関係機関の協議会構成員21人が出席しました。

農業改良普及課からは令和7年度の活動実績や令和8年度の活動計画等について説明し、意見交換を行いました。

農家代表者からは「農業は誰でも新規参入ができるが、就農相談時にはリスクに備えた資金等の準備を説明してほしい」「常温煙霧機の実証試験では省力化が一番のメリット、事業で導入したい」など多くの意見が出されました。

農業改良普及課は構成員の意見を参考に、今後の普及活動に生かしていきます

### アボカド栽培3年目に向けて ～大原・西ノ平集落営農組織定例会開催～



今後の栽培管理の改善  
について協議する組合  
員と関係機関ら

3月10日、奈半利町の大原・西ノ平生活改善センターで大原・西ノ平集落営農組織が定例会を開催し、組合員4人が参加して次年度のアボカドの栽培管理について協議しました。

農業改良普及課は、県外先進地視察研修で学んだアボカドの生態や土づくり、かん水管理のポイントについて説明しました。組合員からは「初期のこまめなかん水管理の重要性を再認識した。土壌の乾燥防止のため、視察先が行っていた株元マルチングを試したい」等、意欲的な声が聞かれました。

農業改良普及課は、関係機関と連携し、引き続きアボカド栽培技術の向上及び集落営農活動の定着・活性化を支援していきます。

## 丁寧に植えましょう！ ～ユズ講座（定植）を開催～



定植のポイントを説明する普及指導員

3月15日に安芸市井ノ口現地ほ場でJ A安芸地区柚子部がユズ講座を開催し、部員や関係機関27人が参加しました。

この講座は、平日に参加できない部員のために、年4回日曜日に開催しており、今回はユズの苗木の定植をテーマに行いました。

農業改良普及課による作業のポイントや定植後の管理について説明後、J A営農指導員や柚子部役員が定植を実演しました。

参加者からは「根はそこまで丁寧に広げんといかんがやね」といった声が聞かれるなど、作業のポイントについて理解が深まった様子でした。

農業改良普及課では、今後もJ A等の関係機関と連携し、定植などの技術指導を含めたユズの生産拡大に向けた取組を実施していきます。

## 基腐病をやっつけよう ～対策勉強会～



積極的に質問する部会員

3月18日、J A高知県芸東芋部会はサツマイモ基腐病対策勉強会を開催し、部会員9人が参加しました。

農業改良普及課室戸支所からは基本的な対策の説明と、部会内で発病を抑えている農家の優良事例について紹介しました。

部会員からは「基本に立ち返って残渣の持ち出しをちゃんとやる」という声があり、勉強会後に実施したアンケートでも参加者全員から「実施していなかった対策にも取り組みたい」と回答を得ました。

今後も室戸支所は、サツマイモ基腐病対策について伴走支援していきます。